



# グラウンドゴルフ

発行/埼玉県グラウンドゴルフ協会  
事務局/〒346-0016 久喜市東2-6-7

編集発行人/宮崎 義重

☎0480-21-5748・FAX0480-23-7100

## 各地の 「大会に参加して」



宮崎 義重  
(県GG協会々長)

二〇〇一年もあと一カ月程で終わりを告げようとしていきます。今更申しあげるまでもなく、いつでも・だれでも・どこでも手軽に楽しめる生涯スポーツとして今や若年層から高齢者まで幅広い年齢層の方々に楽しまれており、お陰をもちまして登録者数も九、〇〇〇人の大台にのることになりました。とりわけ草加市協会においては一、四〇〇人を越える勢いで、県内一の会員数でございます。これひとえに関係者各位に深く感謝申し上げます。

さて二〇〇一年を振り返ってみるときに茨城県潮来における新春大会、大勢の参加を得て盛大に行われました。次いで夏の大会が栗橋町で行われました。平成十四年、福島県で行われる年リンピックの選手の選考も無事終わることができました。とりわけ真夏の暑い日射しの中、地元協会の皆さん方のいたれりつくせりの心遣いに深く感謝を申し上げます。有難うございました。又、七月下旬に行われました上級指導者の認定及び交歓大会にはこれまた大勢の方々のご参加をいただきすばらしい成果を上げることが出来ました。とりわけ大谷川のほとりの交歓大会は会場も芝コースで

整備され、あちこちでホールインワンの歓声が聞かれ印象的でした。九月上旬に行われました関東ブロック山梨大会には今迄最高の参加をいただき有難うございました。又、成績も上位入賞者が出まして本当におめでとうございました。次いで行われました全国交歓大会富山大会にも県内から五十七名の会員が出席され、全国からの一、七五〇名近い方々と交歓交流を行い、県としては熊谷勢が上位入賞を果たしました。ご健闘を心から称えたいと思います。翌日から台風にたたられ、小雨降る高山市もなにか風情があつたような気がいたします。会員の皆さん、人工芝コースでプレーしたことがございますか？ 秋の大会(青木一三杯) 飯能市協会の皆さん、ご協力ありがとうございます。第59回国民体育大会が行われますホール競技場、ボールのすべりが速くてどうにも止まらない、大変苦労をされたようでした。然し良い経験をされた事と思います。更に今年の年リンピックは広島県で、スポレク大会は三重県四日市で行われました。それぞれの選手諸君の健闘に心から感謝申し上げます。

暦の上では小雪の季を迎えました。これから益々寒さも厳しくなつて参ります。会員の皆様ご自愛の上で健康でよいお年を迎えて下さい。風邪をひかないこと、ころばないこと。

## 「県夏季大会」開催される

### 全国年りんピック大会へ四名選抜

今年も真夏の七月二十日(日)、栗橋町総合グラウンドに県下各市町村より約四五〇名の選手が集まり盛大に開催されました。

会場を受持った栗橋町は、協会結成以来日が浅いながら協会あげての歓迎万全な準備により素晴らしい大会となりました。大会成績は次の通り。全三十一ホール

- 1位 矢内 高子(幸手市) 72打
- 2位 小暮 重之(深谷市) 73打年りん出場
- 3位 石井 健治(深谷市) 73打年りん出場
- 4位 斉藤 茂雄(加須市) 73打年りん出場
- 5位 森 悦子(岩槻市) 74打
- 6位 小山西之助(杉戸町) 74打年りん出場
- 7位 鈴木 敏男(草加市) 74打
- 8位 喜田千鶴子(川越市) 75打
- 9位 斉木 晃(岩槻市) 75打
- 10位 肥後 勝男(加須市) 75打
- 11位 岡田トシ子(草加市) 75打
- 12位 八木 岩男(越谷市) 75打
- 13位 佐藤 武男(熊谷市) 76打
- 14位 真下 勝子(岩槻市) 76打
- 15位 肥後久和子(加須市) 76打



埼玉県グラウンドゴルフ夏季大会

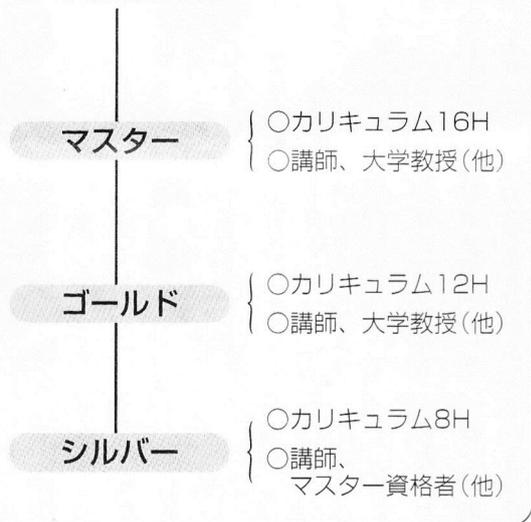
# 《 指導者育成特集 》

(日本協会・県協会・市町村協会)

今、各地で「指導者」と称されている人が活躍されております。その資格認定は日本協会・県協会・市町村協会が行うものとがあります。何れもグラウンドゴルフの育成指導に当たることが主たる任務であります。従って日常活動の中ではグラウンドゴルフが如何に公正・公平な中で行われるか、その環境づくりにあります。そこで今回、指導育成の(1)カリキュラム、(2)講師陣の意見、(3)市町村の事例を特集してみました。

## 指導者資格

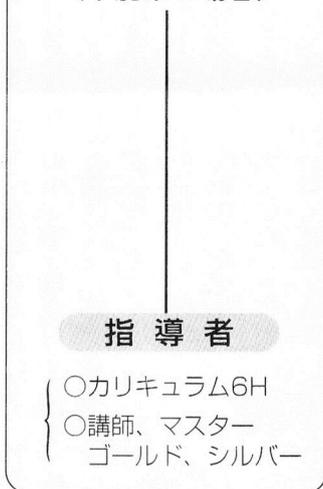
### 日本協会認定



### 県協会認定 (埼玉県の場合)



### 市町村協会認定 (草加市の場合)



## 本県の指導者育成について

県指導者育成委員長 高井 満雄

現在、埼玉県指導者の育成については、上級指導者という名称で資格習得を年一回県外において、一泊二日の講義、筆記試験、実技試験等に基づいて開催されております。指導者としての質の向上、活躍できる人格者をめざして期待される指導者をと考えています。自分自身が審判といいなながらも、その時々により言い分、対応が違ったり、いつも心の中に戸惑いがあるのは、楽しいG・Gとはいえませんが、指導者としてのらしさを備えた心豊かな上級指導者が育つ事を期待しています。また大会参加についても、今は、どういう立場であるかを理解し、区別しながら、しっかりと心とめて行動したいものです。打数にこだわるが故に「あれでも指導者なのか」といわれないように心掛け、いろいろな角度から物事を考えて、選手の方々が楽しくプレーする事が出来る場を与えられるように対応していきましよう。指導者の中には、選手として楽しむ人、指導者として活躍する人の二通りになるかと思いますが、指導者の育成に各々が何を目的に受講するのか、目的がしっかりしないまま参加されている人はいないでしょうか、意図がつかめず困る事がありました。コース図がかけない、数字や文字が苦手という人がいましたが指導者として、どうかと考えますが、皆

さんはいかがですか。やはり、いつも前向きに新鮮な気持ちで日々努力、研鑽し意欲と自信を持った指導者が育成される事を期待しているところです。

## 県協会の事例

### 平成十三年度二級(国)・上級(県)認定講習会並びに交歓大会

今年も去る七月二十八日～二十九日(二日間)、栃木県鬼怒川及び今市市に於いて三級普及指導員(国)、上級指導者(県の資格認定講習会並びに既資格者(特に平成九、十、十一年取得者)の交歓会も同時開催されました。

日程を大別すると第一日目は講義、第二日目は実技で左記により進められました。先ず新規取得者と既資格者に分かれ、新規取得者は開講式・カリキュラム説明、既資格者は一級指導員高桑芳男講師による講義を受けた後、夫々が終了後、日本グラウンドゴルフ協会常務理事細川磐先生の全体講義を受けました。

#### <第1日目> (10時～)

開講式	講義	
	既資格者(高桑講師)	新規取得者(荒井講師 他)
昼食	全体研修	個別講義
	<講師> 日本グラウンドゴルフ協会 常務理事 細川 馨	<既> テーマ別討論会  <新> 講義・テスト

#### <第2日目> (8時～)

<既>	交歓大会	閉講式
	実技テスト	
<新>	実技テスト	

日程別に各講師の講義内容を要約し紹介しますと、

### 高桑芳男講師（既資格者対象）

平成十三年、一級普及指導員（マスター）の資格を取得され、その体験をもとに指導者としての心構え並びに事例紹介を含め講義された。

### 細川 馨講師（全体研修）

(1)普及指導員の心構えについてV・S・O・Pをキーワードとしてその大切さを強調された。

V：バイタリティー（活力）

S：スペシャリティー（専門性）

O：オリジナリティー（独創性）

P：パーソナリティー（個性的）

(2)ルール、エチケットの理解

ペナルティを与えるものでなくプレーヤーが公正・公平の立場で楽しくプレーするための理解すべき。

### 荒井光市講師（新規受講者）

三級普及指導員（シルバー）並びに上級指導者（県認定資格）の資格取得に向けて、

(1)生涯スポーツとグラウンドゴルフ

(2)ルール、エチケットの解説

(3)指導者としての心構え等について

講義、終了後テストを行う。

### 一級普及指導員によるパネルディス

カッション（既資格者対象）

既資格者を二班に分け、(1)指導者としての心構え (2)市町村協会での指導者育成の実態 (3)会員の増強とその対応について等について一級指導員からの問題披歴及び意見交換が行われた。

## 市町村協会の事例

草加市G・G協会指導部

部長 戸部宗三郎

草加市グラウンドゴルフ協会では平成十二年に指導部を独立組織いたしました。

構成は会員の中より資格者（国、県、市）二八三名で会員五・二人に一人の割合から成っております。指導者数の当初目標は会員一〇人に対し一人としておりましたが、現在これを完全にクリアしてまいりますので、平成十三年度よりその後の研修会・講習会の履行状況により厳選することとしております。

指導者の目的は「グラウンドゴルフの指導・育成」にあります。平成十三年実施いたしました草加市グラウンドゴルフ協会の「指導者養成講習会並びに指導者研修会」の内容をご紹介します。

一、とき 八月二十六日(日)午前八時半より

二、ところ 実技研修：柿木グラウンド

三、参加者 「現に指導的立場で活躍できる人」を基本として支部長より推せんされた人

四、費用 新規受講者一、五〇〇円

五、講師陣 新規受講者担当 七人

既資格者担当 六人

既資格者 一、〇〇〇円(昼食)

六、研修日程

何れの講師も主に(県)協会主催の指導者、講習会（八月、於鬼怒川）に参加した資格者（シルバー、上級）が当り(市)協会役員等は全体の補完をする。

8:30	9:00	12:00
午前の部	実技研修 (8H×4回=32H) ※柿木グラウンド	
13:00	午後の部	
(新規受講者)	(1)生涯スポーツとしてのグラウンドゴルフのルール及び特徴	
(2)グラウンドゴルフの心構え	(2)指導者としての心構え	
(3)指導者としての心構え	(3)指導者としての心構え	
(4)指導者としての心構え	(4)指導者としての心構え	
(既資格者)	(1)生涯スポーツとしてのグラウンドゴルフのルール及び特徴	
(2)グラウンドゴルフの心構え	(2)指導者としての心構え	
(3)指導者としての心構え	(3)指導者としての心構え	
(4)指導者としての心構え	(4)指導者としての心構え	

七、テスト（おさらい）

新規受講者について実施し採点の結果八〇点以上を合格とする。

八、アンケート

全員に講習会、研修会終了後、意見をアンケートで取まとめ今後の指導運営の参考とします。

## 「県、秋季大会」

国体ホーケー会場で開催

秋季大会は晴天に恵まれた十月十四日

(日)、飯能市阿須運動公園で開催されました。

この日、地元飯能市協会の肝いりで人

工芝を敷き詰めた「平成十六年埼玉国体

ホーケー場」を提供して頂き大部分の参

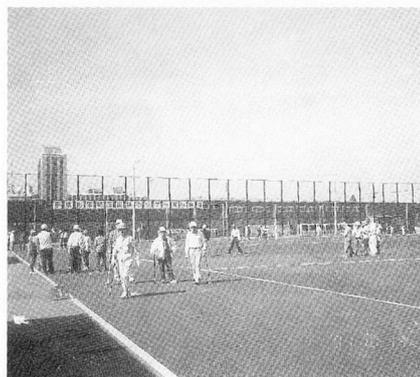
加者は初体験をいたしました。当初、難

しいコースとの印象がありましたが意外に成績は良く他の会場と大きく変わるところはありませんでした。

又、エキジビションとして社会人チーム（女子）の演技を見ることが出来、会場に大きな歓声が上がっていました。

大会成績は次の通り。全三十二ホール

- 1位 服部 享 (岩槻市) 63打
- 2位 吉川 浩 (岩槻市) 65打
- 3位 平山 昭一 (大井町) 67打
- 4位 藤野 久好 (川本町) 73打
- 5位 天沼 秀作 (熊谷市) 74打
- 6位 高橋 保 (深谷市) 74打
- 7位 小暮 重之 (深谷市) 74打
- 8位 石原貴美子 (深谷市) 75打
- 9位 加藤 友子 (草加市) 75打
- 10位 岡野 英一 (加須市) 76打
- 11位 関 重雄 (川越市) 76打
- 12位 今井 武 (松伏町) 76打
- 13位 小林 梅子 (加須市) 76打
- 14位 滝沢喜美枝 (加須市) 76打
- 15位 斉木 晃 (岩槻市) 77打



# 北から 南から 活動報告

## 鷺宮町GG協会紹介

事務局長 中山 恒壽

私達の協会は平成三年会員数一七〇名で愛好会として発足し、昨年で十年を経過これを期に、町体育協会に加盟し本年度から会名称を協会に変更しました。近年会員数は老連G・G部設立の関係で会員が分散し、一一〇名から一二〇名で推移しています。

当協会の事業内容は、年間四回の定期大会と温泉一泊の親睦大会及び近隣市町の交歓大会に三回参加し、毎週土曜日の午前中を練習日とし、毎回七十名ほどが参加し賑やかに練習に励んでいます。凸凹グラウンドで成果は思うに任せません。

当町では一つの土のグラウンドを各種団体が競合して使用し、グラウンド事情には恵まれず、機会ある度町当局に専用グラウンドの建設を要請するも、昨今の経済事情もあり希望がもてません。したがって会の規模は小さくても内容を充実させ、高齢者の楽しい生涯スポーツとして、会員皆でグラウンド・ゴルフが楽しめる協会をめざし役員一同努力しています。

## 南部 友愛精神を大切に

大宮GG協会 高桑 芳男

当協会は創設して以来、十三年目を迎えて益々活動を深めています。高齢化社

会になり会員の年齢層も高くなり生涯スポーツとうたわれているグラウンドゴルフに年齢を問わず、だれでもが気軽に参加しプレーして楽しさを満喫し、喜びを味わう気持ちを大切に、仲間意識を培う心を養っています。

会員各々は自分なりに健康維持とコミユニケーションを図るために大会等に積極的に参加し、歓声と笑いが絶えないムード作りに励んでいます。特に協会行事のメインは「グラウンドゴルフツアー大会」と称して一泊二日のバスツアーによる宿泊大会を企画して今年で六回目になります。今年は一〇〇名を越す参加者があり協会役員もうれしい悲鳴を上げながら会員の対応に当り、和気あいあいでも過ごす交流大会は旅行気分による開放感の充実、大会会場の回りの景色の良さに心はずませ、懇親会での会話にもなごやかさが一段と深まり相互の理解と仲間作りに役立っています。

## 西部 GGで人生をGO GO!!

飯能市GG連盟 清水 邦男

平成四年十月十二日、飯能市G・G連盟が産声をあげた。来年の十周年を迎える事が出来るのもG・G協会のご指導の賜と役員一同心から感謝申し上げます。当連盟の運営は顧問一名、会長一名、副会長若干名（現在は三名）、理事各支部から一名、会計二名、監事二名、事務局一名、加盟支部十支部（飯能市全域を網羅）約三四〇名の会員で構成されている。年会費五〇〇円、事業内容は平成十二年度で理事会五回、連盟主催大会三回、市

（五二七名参加）、市レク祭（二三四名）、市外大会六回（五十四名）、市レク総会、連盟上級者指導者研修会、新年会、市レク協交流会、他団体G・G大会、サポーター等です。平成十三年度登録四十六名、日本協会登録十二名、特筆すべき事は日本協会登録の十二名は昨年より二人一組で各支部をルールの周知とレベルアップのため巡回指導をしております。来年の十周年は一泊二日で遠征G・G大会を計画しております。

## 北部 本庄市愛好会 歩みと現状

本庄市グラウンドゴルフ愛好会 鈴木 三郎

本庄市愛好会は平成三年、金井常一氏が老人の福祉対策の一環として、グラウンドゴルフ場の建設、提供して頂き四年春までに完成し全八ホールの芝生コースです。老人主体に健康管理、ストレス解消に「明るく仲よく、仲よく」をスローガンとしています。

平成五年六月、本庄福祉事務所に施設を提供し本庄市藤田グラウンドゴルフ場として再出発し、記念大会を実施しました。平成八年に更に八ホール追加し十六ホールの常設といたしました。練習は雨の日以外は毎日行っております。本庄市グラウンドゴルフ協会は、平成十年以降脱会し（県、全国）、平成十一年度より藤田グラウンドゴルフクラブが

少数ではありますが、本庄市の名を協会に留める為、本庄市グラウンドゴルフ愛好会として発足、現在に至っております。他地区のクラブからも毎日よく練習に来てくれています。

野菜生産地帯だけに会員も老人が多く一九名中六十代三十名、五十代三名、三級の指導者もない淋しい愛好会です。目的が老人の為に発足しただけに会員の確保もままならぬ現状です。活動は練習の他月一回の月例会大会、夏季杯、トッブグリー杯、スポーツ杯、オーブン記念の四大杯、その他本庄市、児玉郡市町村、県協会主催の大会、近隣の大会に出場させて頂き技を磨いております。今後共宜敷く御指導をお願い申し上げます。

## 編集後記

広報委員 鈴木敏男(重加市)

生涯スポーツは高齢化社会に相応しいものとして、各地で導入が盛んであります。又、その楽しさは実践によって継続されておりま。グラウンドゴルフは競技方法も単純で、自己のマナーさえしっかり持っていれば他人に迷惑がからぬ大きな特長があります。

最近、生涯スポーツの中であつて目ざましい普及を誇っていた愛好者が急激に減少し、大会出場へのメンバー（五人一組）が組めないという実情が訴えられておりました。

従つて、主催者側で選手の「オンブズマン」を用意して対応している……という報道があります。これら原因は、(1)競技の難しさか、(2)楽しさの欠如か、(3)競技方法か、(4)人間関係か、は明らかではありません。